

炭素回収技術評価センター (実ガス試験センター)

目的

CO₂濃度10%以下のボイラー燃焼排ガスによる実ガス試験を行えるセンターを設置します。標準材の評価を通して実ガス標準評価法を確立します。外部サンプルの受入れ・試験を通して国内CO₂分離素材開発を支援します。

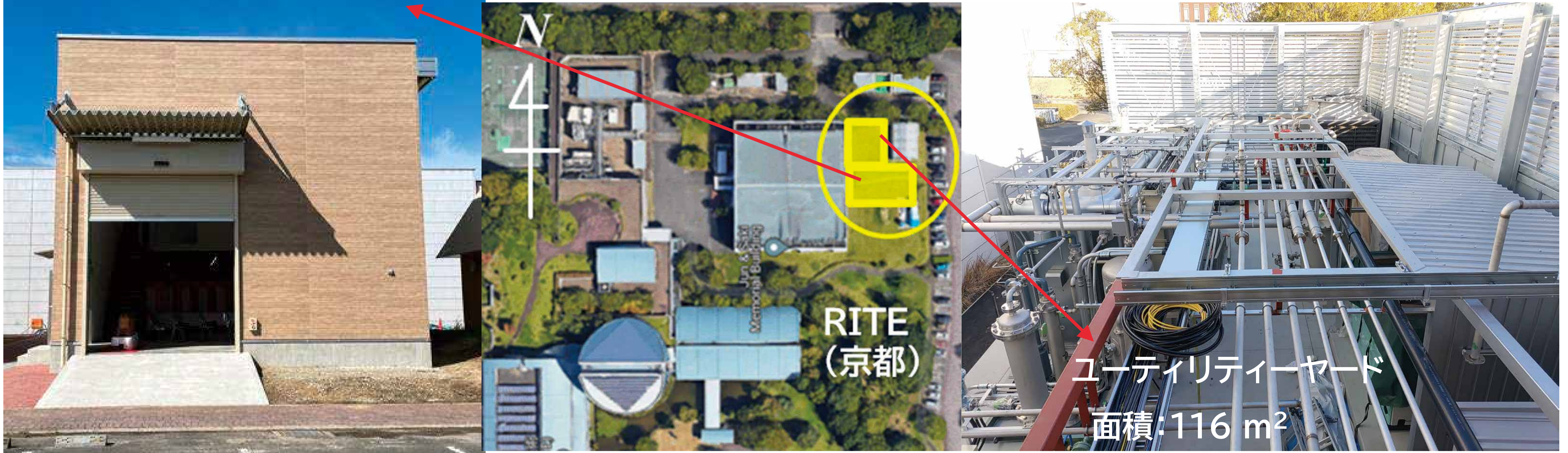
センター概要

【所在】 京都府木津川市木津川台9丁目2番地 RITE内

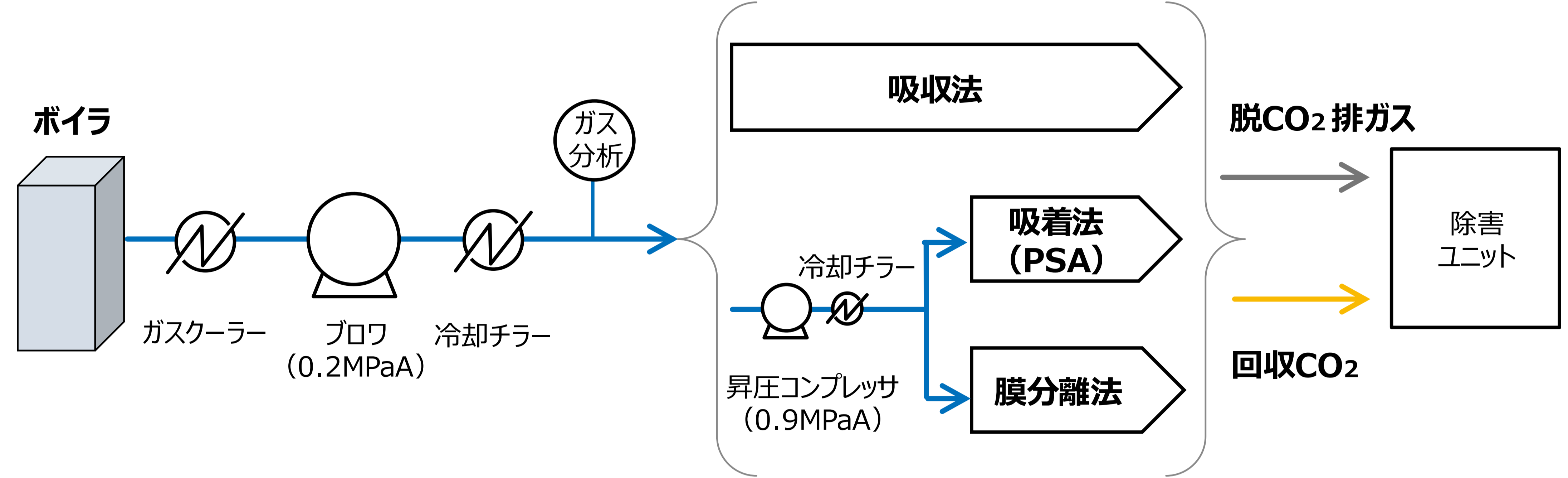
【稼働時期】 2025年2月 PSA試験設備、膜モジュール試験設備

2025年7月 吸収液試験設備

評価棟 面積:131 m² 高さ: 8.4 m



供給排ガス	
流量	120Nm ³ /h
温度	40°C
圧力	0.2MPaA
組成 (推定)	CO ₂ 7.8%
	N ₂ 74.0%
	O ₂ 3.7%
	H ₂ O 14.5%
	NOx 65ppm



設備	仕様
排ガス供給設備	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市ガスボイラー(蒸気量250kg/h相当)×2基 ● 各試験設備に対して100kg-CO₂/dを供給可能
排ガス除害設備	<ul style="list-style-type: none"> ● 活性炭吸着塔×2基
吸収液試験設備	<ul style="list-style-type: none"> ● 吸収塔(充填層部): φ200×H2.0m 再生塔(充填層部): φ100×H2.0m ● 吸収塔入口温度(ガス/液): 40°C 再生圧力/温度: 0.2MPaA/120°C
PSA試験設備	<ul style="list-style-type: none"> ● 吸着槽: φ250×H1.8m×3塔 ● 温度: 30°C 圧力: 101~900kPaA(吸着) 10kPaA(脱着) 露点: -60°C
膜モジュール試験設備	<ul style="list-style-type: none"> ● 膜モジュール: L1m程度 …フレキシブル配管で調整 ● 温度: 30~85°C 圧力: 101~900kPaA(供給) 10~101kPaA(透過) 露点: -15~80°C



センター 利用※

本センターは、NEDO事業における標準評価法を確立するための研究を行います。ボイラー“実排ガス”を用いた標準評価を希望する事業者からの外部サンプル試験も受け入れます。

ユーティリティ費用など運転の実費等をご負担いただければ、ボイラーからの“実排ガス”を用いた標準評価が可能です。利用者様からの情報は、標準評価法の確立に一部利用致しますが、試験データの公開/非公開は、利用者様のご要望に従います。

※計画中

申し込み受付

NDA締結 試験方法協議

実ガス試験同意書

実ガス試験

この成果は、NEDO委託業務「グリーンイノベーション基金事業/CO₂の分離回収等技術開発/低圧・低濃度 CO₂分離回収の低コスト化技術開発・実証/CO₂分離素材の標準評価共通基盤の確立」(JPNP21024)の結果得られたものです。